



2019年3月期 第2四半期 決算説明資料

2018年11月14日

証券コード：4022

目 次

1. 事業概要

2. 2019年3月期 第2四半期実績

1. 事業概要

事業概要

会社概要

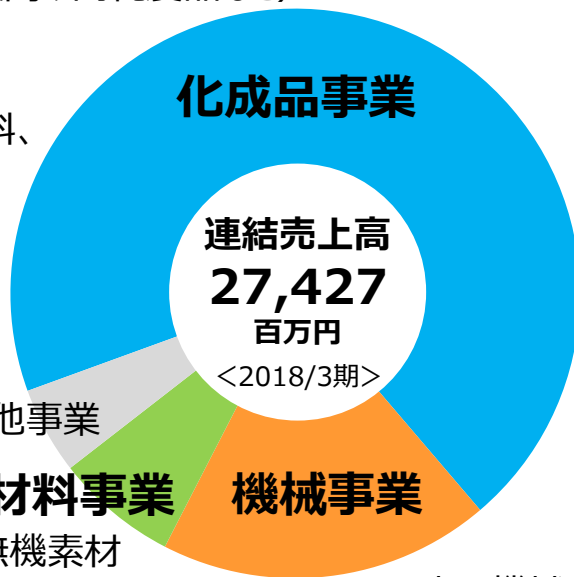
商号	ラサ工業株式会社
本社	東京都中央区京橋一丁目1番1号
創業	1913（大正2）年5月1日
設立	1918（大正7）年6月26日
従業員数	557名（連結） <2018年3月31日現在>

■ リン系製品

リン酸（一般品、電子工業向け高純度品など）
リン酸塩など

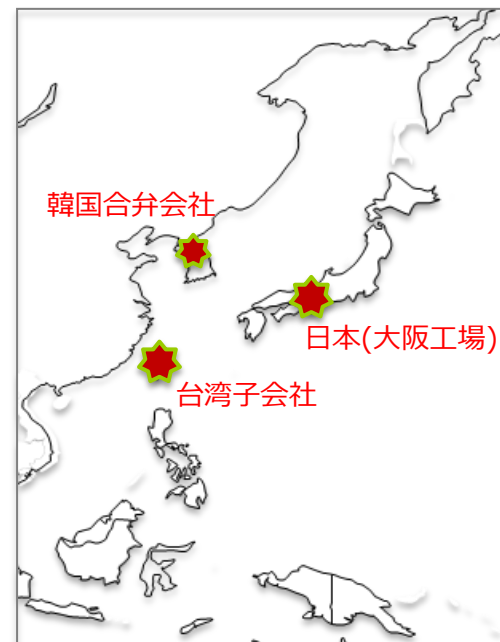
■ 凝集剤（水処理用など）

■ その他（コンデンサー向け原料、
消臭剤など）



- 化合物半導体向け高純度無機素材（ガリウム、インジウム、高純度赤リン、高純度酸化ホウ素）
- 放射性ヨウ素吸着剤

- 建設機械（破碎機、選別機、粉体機器）
- 土木機械（掘進機（上下水道向け））



<半導体向け高純度リン酸の製造体制>

2. 2019年3月期 第2四半期実績

2019年3月期 第2四半期 決算概要

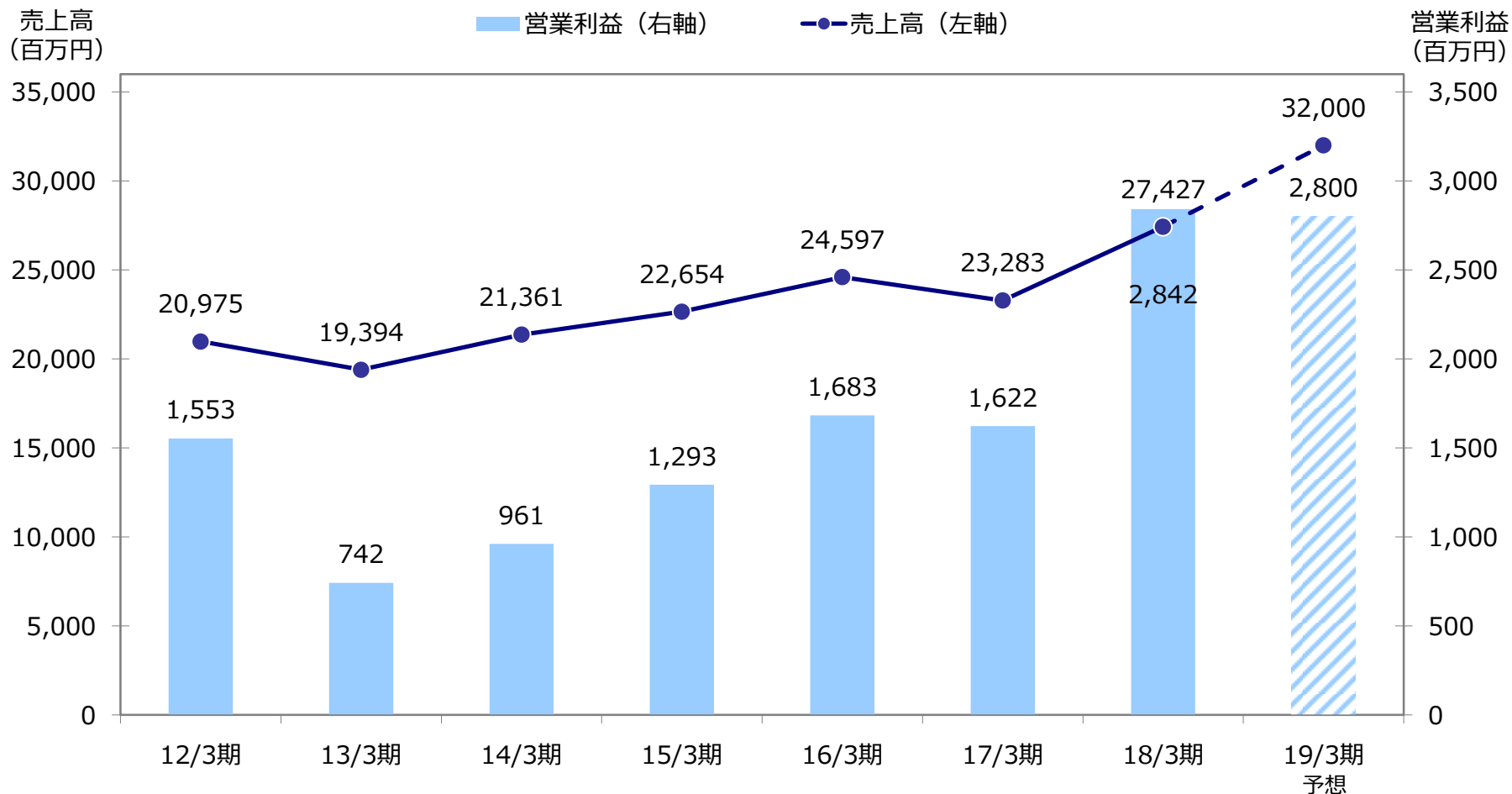
- 化成品事業で半導体向け販売、引き続き拡大、増収。
- 機械事業の営業減益や償却費等コスト増の一方、持分法利益寄与で経常増益。

(単位：百万円)

	2018/3期 上期	2019/3期 上期	増減	前年同期比	上期予想	通期予想
売上高	12,840	15,584	2,744	21.4%	15,500	32,000
営業利益	1,214	1,197	△ 17	△ 1.4%	1,200	2,800
経常利益	1,125	1,246	121	10.8%	1,200	2,800
親会社株主に帰属する 四半期純利益	914	1,100	186	20.3%	1,000	2,300

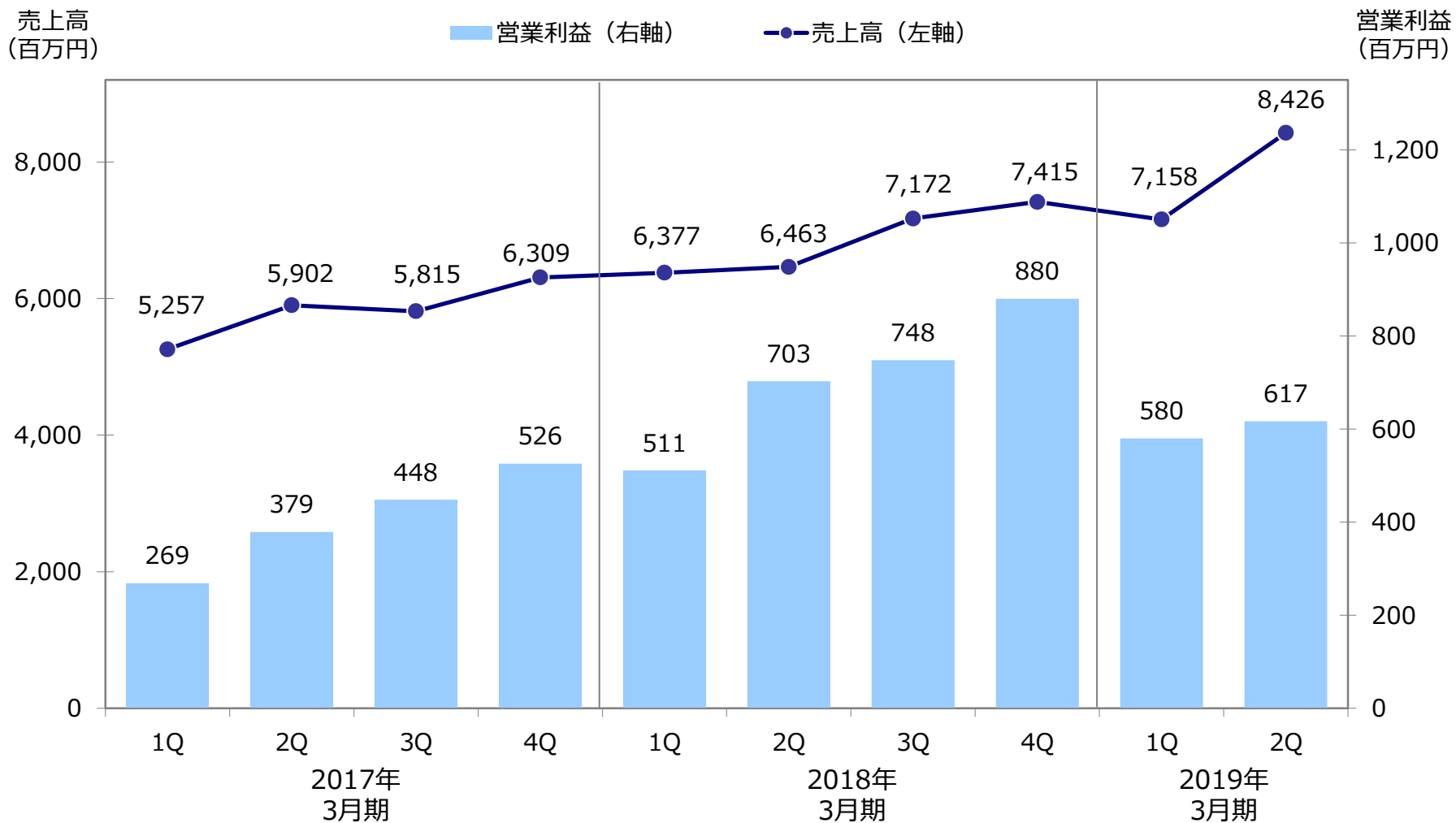
年度業績の推移

売上高と営業利益の推移



四半期業績の推移

四半期売上高と営業利益の推移



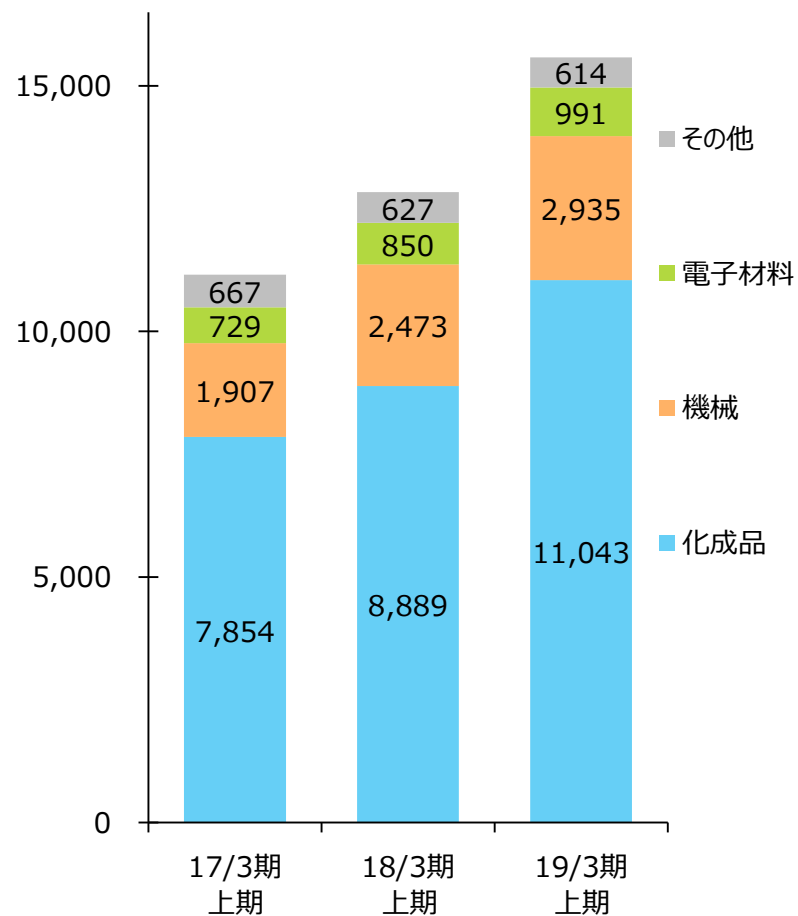
2019年3月期 第2四半期 セグメント別概要 (売上高)

売上高の推移

(単位：百万円)

	2018/3期 上期	2019/3期 上期	増減	前年 同期比
化成品	8,889	11,043	2,154	24.2%
機械	2,473	2,935	462	18.7%
電子材料	850	991	141	16.6%
その他	627	614	△ 13	△ 2.1%
合計	12,840	15,584	2,744	21.4%

(百万円)



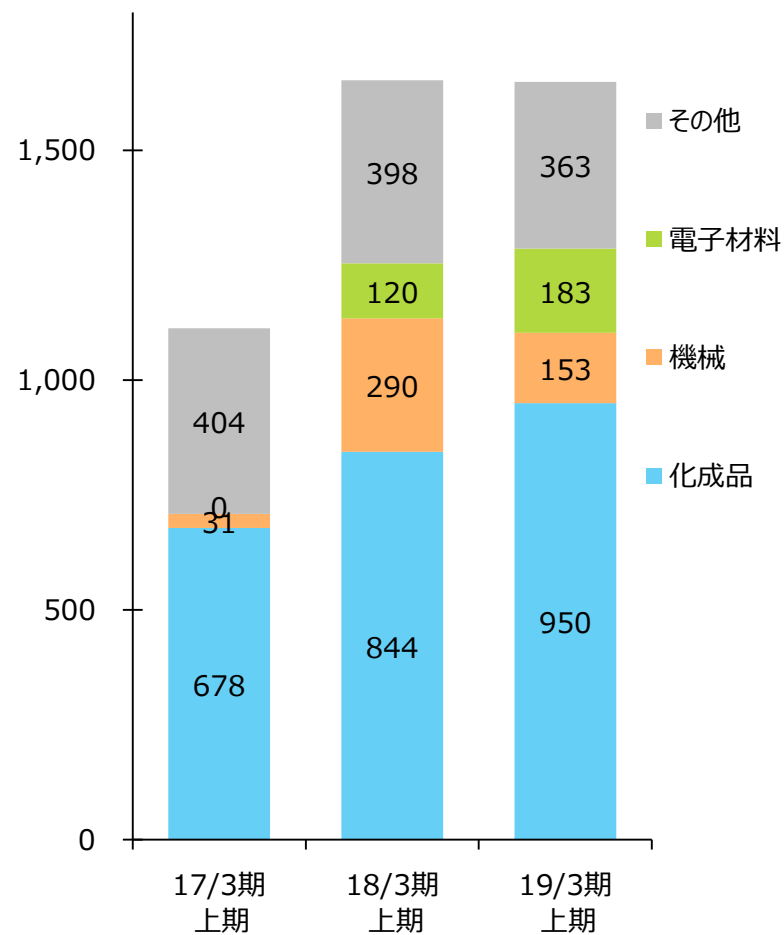
2019年3月期 第2四半期 セグメント別概要（利益）

セグメント利益の推移

（単位：百万円）

	2018/3期 上期	2019/3期 上期	増減	前年 同期比
化 成 品	844	950	106	12.5%
機 械	290	153	△ 137	△ 47.2%
電 子 材 料	120	183	63	52.7%
そ の 他	398	363	△ 35	△ 8.8%
（調整額）	△ 439	△ 453	△ 14	-
合 計	1,214	1,197	△ 17	△ 1.4%

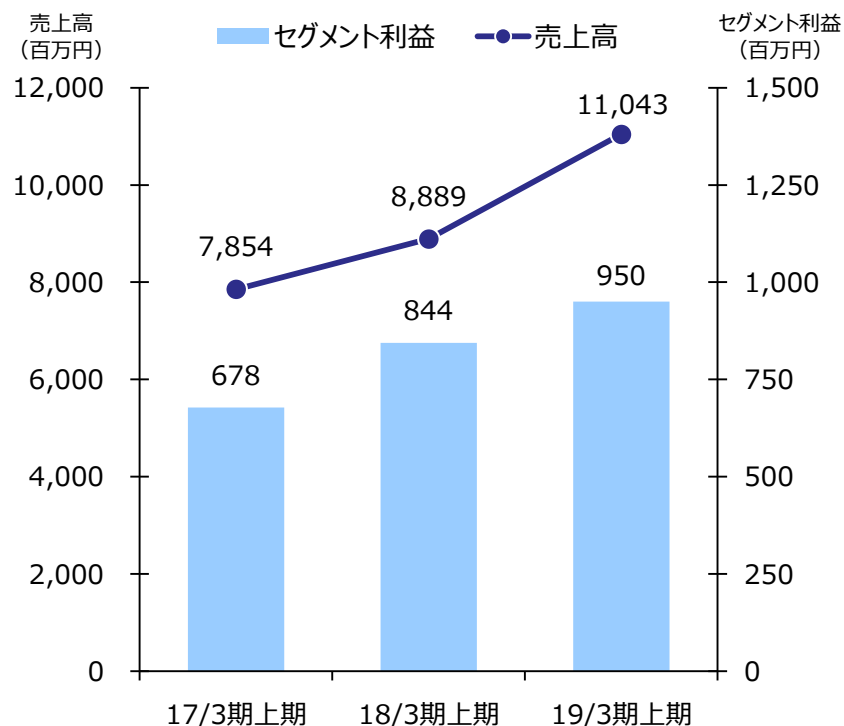
（百万円）



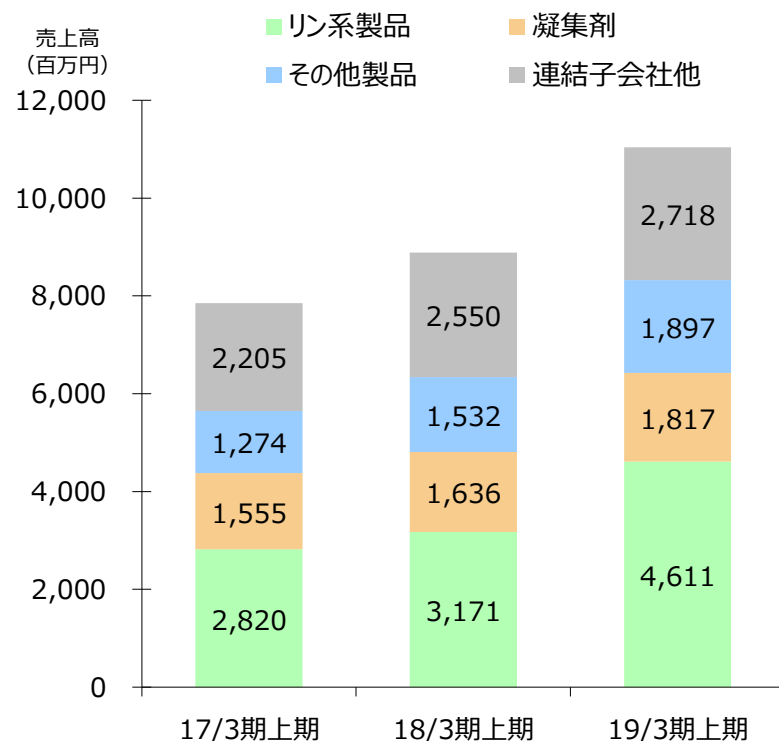
化成品事業

- リン系製品は、電子工業向け高純度品が引き続き拡大、増産効果も寄与。
- その他製品は、コンデンサー向け原料が、客先需要の拡大で大幅な増収。

【化成品事業】 売上高とセグメント利益の推移

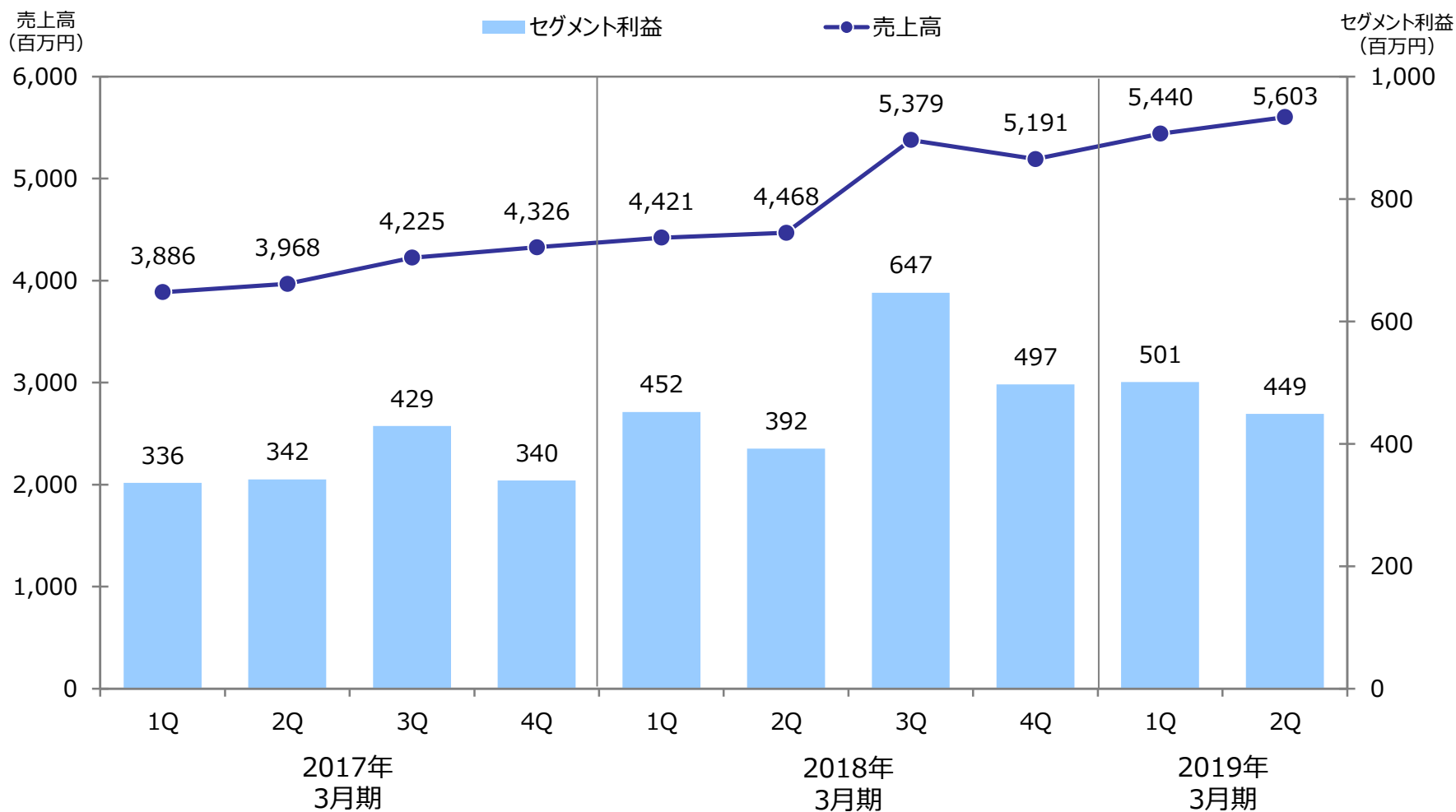


【化成品事業】 製品別売上高の推移



化成品事業（四半期業績）

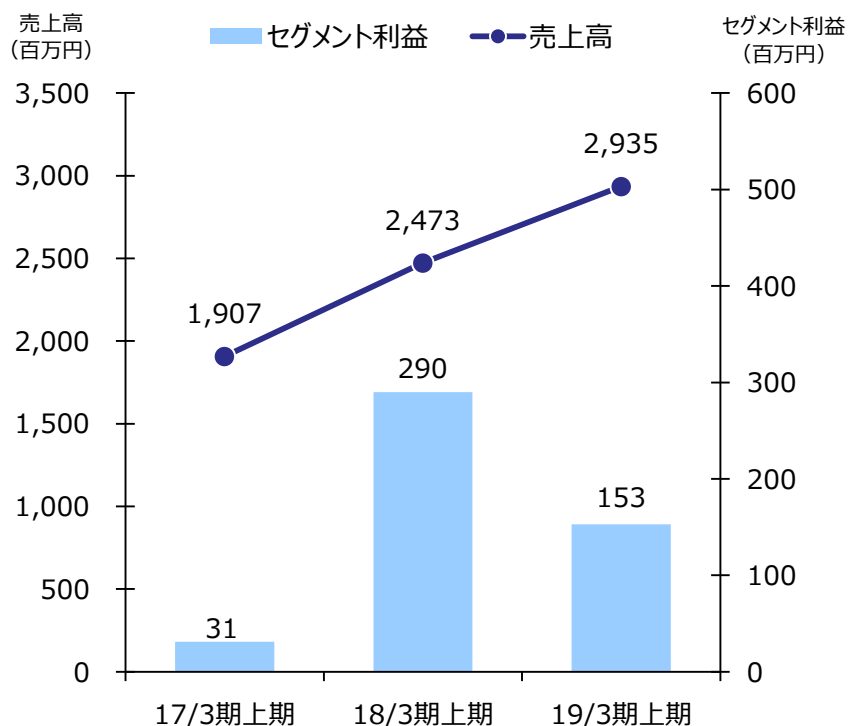
【化成品事業】 売上高とセグメント利益の四半期推移



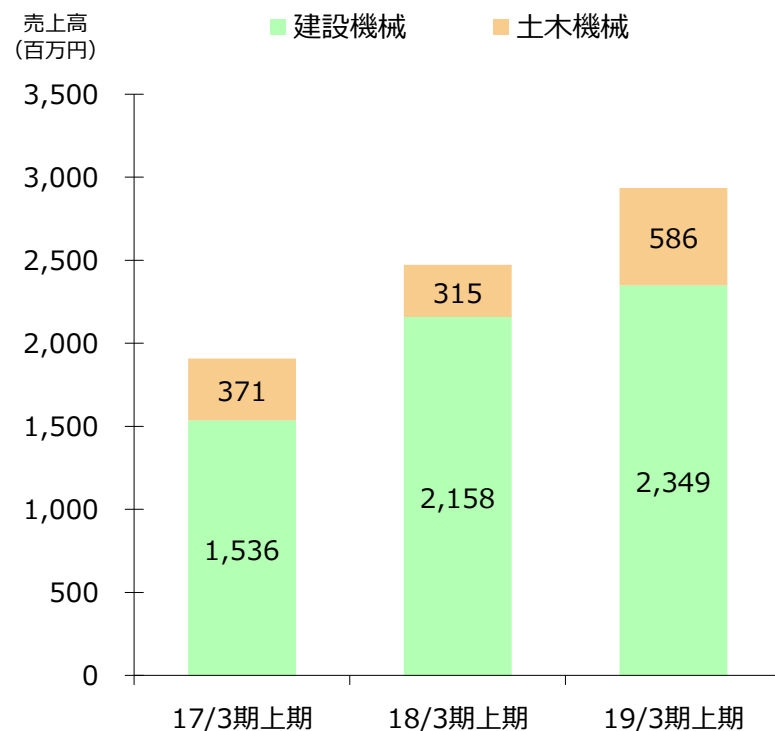
機械事業

- 建設機械は、除染関連プラント販売により増収も、損益面は低調。
- 土木機械は、掘進機の本体販売において、アジア向け輸出が回復。

【機械事業】 売上高とセグメント利益の推移

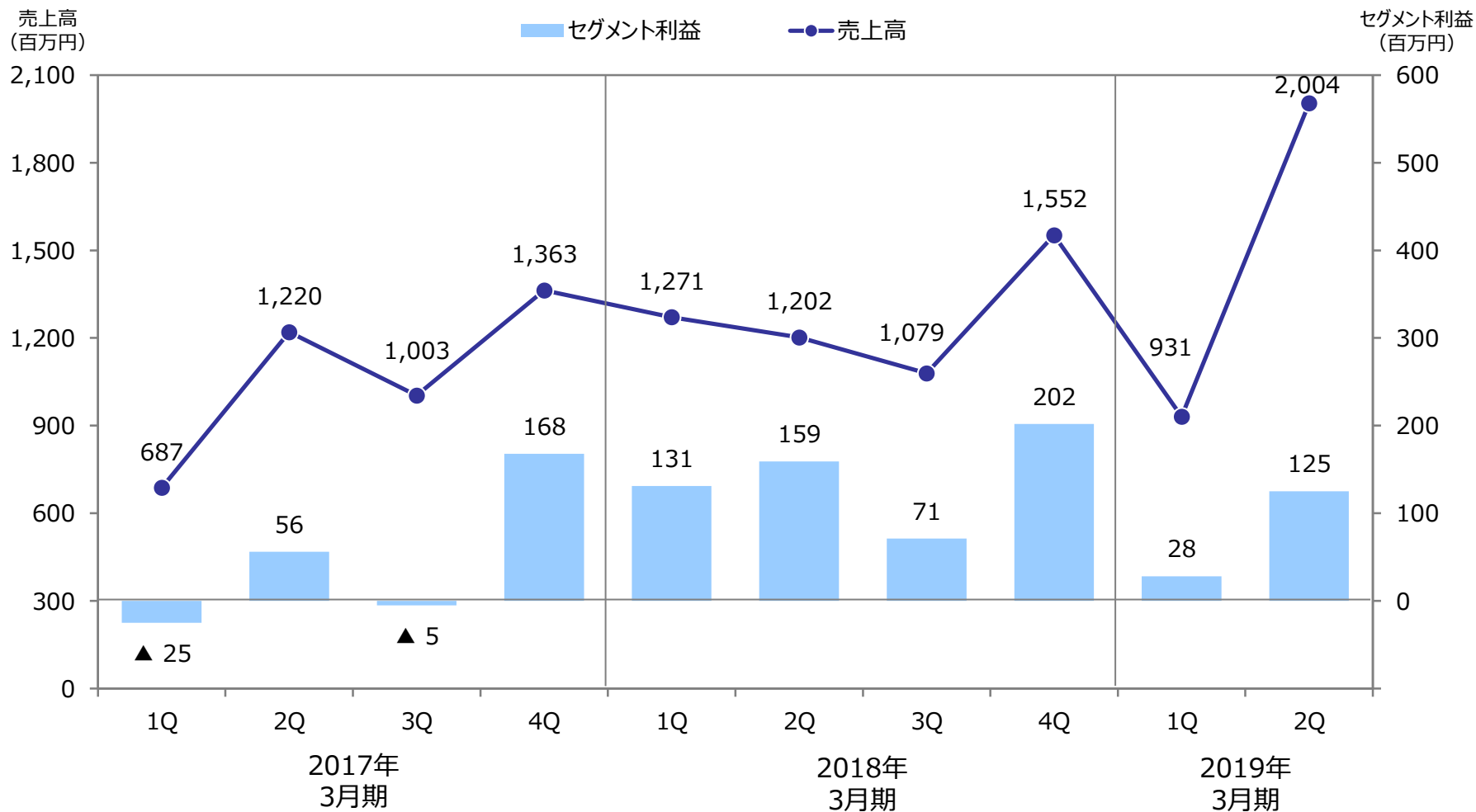


【機械事業】 製品別売上高の推移



機械事業（四半期業績）

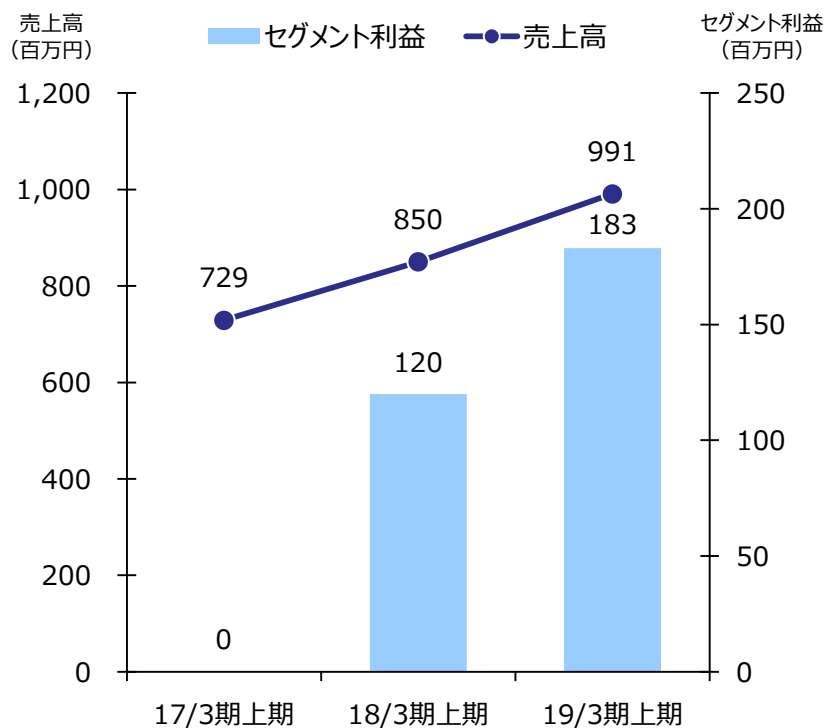
【機械事業】 売上高とセグメント利益の四半期推移



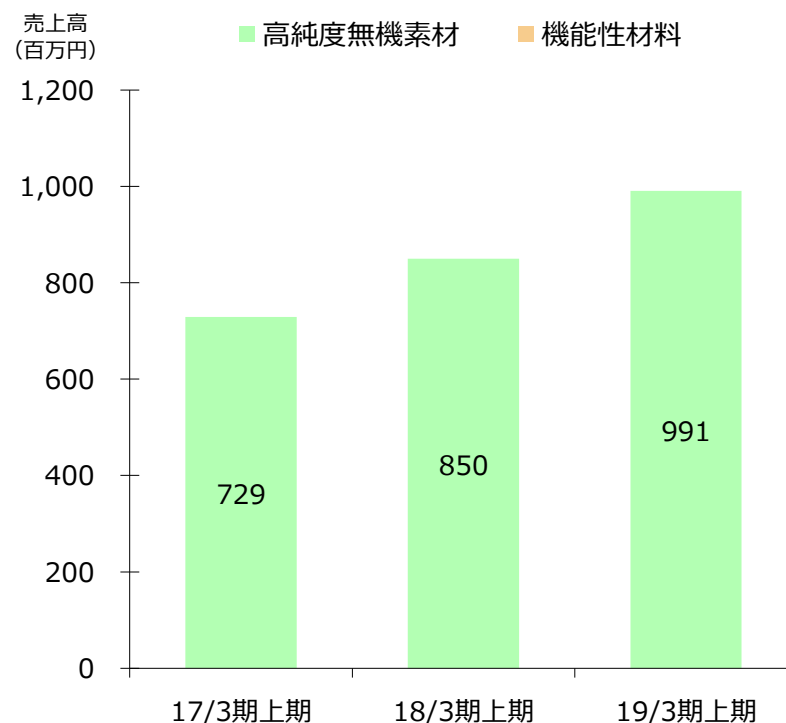
電子材料事業

- ガリウム、インジウムの、販売単価の大幅な回復と、需要の増加により増収増益。

【電子材料事業】 売上高とセグメント利益の推移

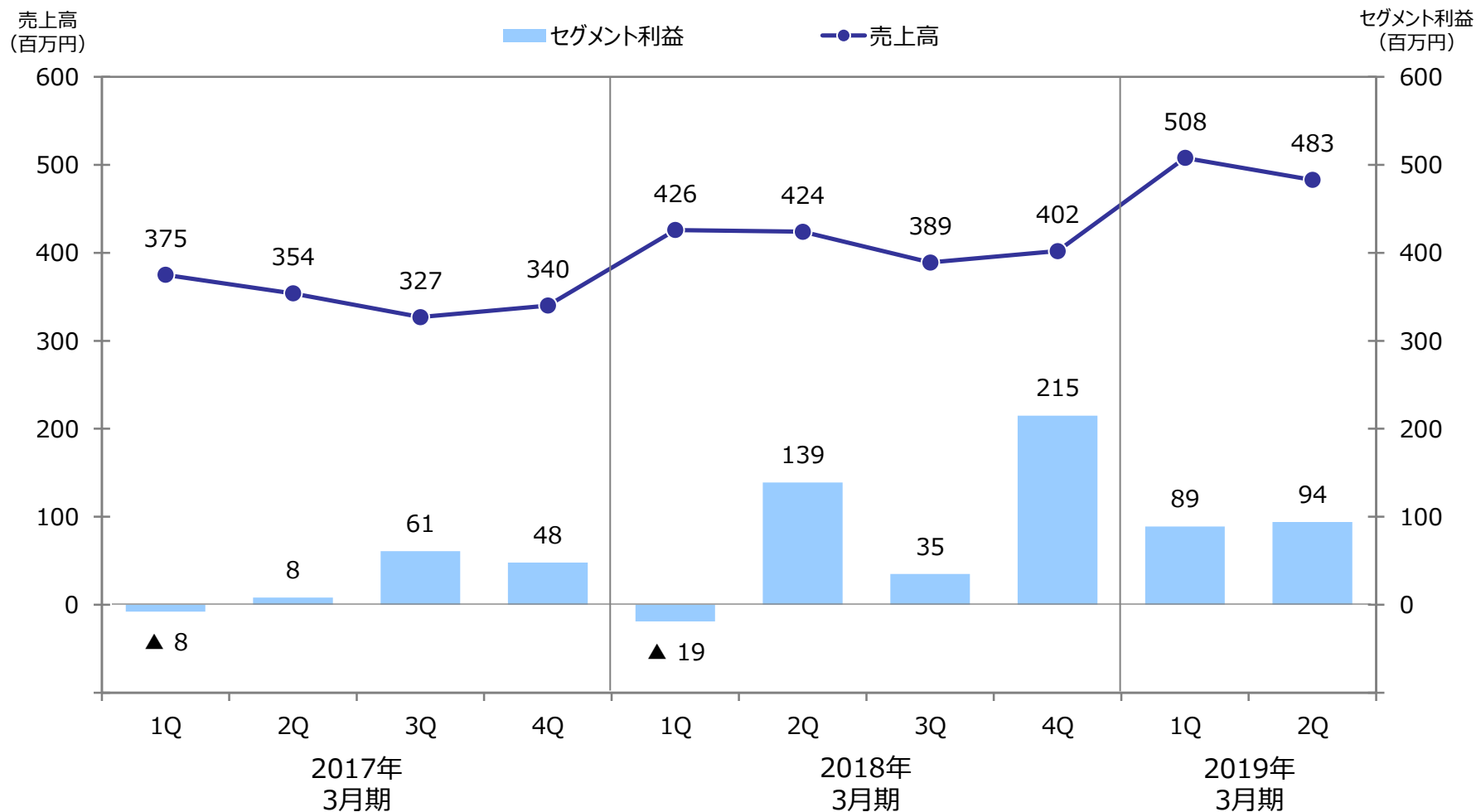


【電子材料事業】 製品別売上高の推移



電子材料事業（四半期業績）

【電子材料事業】 売上高とセグメント利益の四半期推移



損益計算書（連結）

（単位：百万円）

	2018/3期 上期	2019/3期 上期	増減	前年同期比
売上高	12,840	15,584	2,744	21.4%
売上原価	9,571	12,206	2,635	27.5%
販売費・一般管理費	2,054	2,181	127	6.2%
営業利益	1,214	1,197	△ 17	△ 1.4%
営業外収益	103	229	126	122.3%
営業外費用	192	179	△ 13	△ 6.8%
経常利益	1,125	1,246	121	10.8%
特別利益	1	15	14	—
特別損失	—	1	1	—
税金等調整前当期純利益	1,126	1,261	135	12.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	914	1,100	186	20.3%

貸借対照表（連結）

（単位：百万円）

	2018/3月末	2018/9月末	増減
流動資産 計	17,559	16,766	△ 793
現金及び預金	5,188	4,497	△ 691
受取手形及び売掛金	8,248	8,660	412
たな卸資産 ※	3,591	3,251	△ 340
固定資産 計	18,720	19,263	543
有形固定資産	14,583	15,033	450
無形固定資産	947	946	△ 1
投資その他の資産	3,189	3,284	95
流動負債 計	12,992	13,335	343
支払手形及び買掛金	4,240	3,582	△ 658
短期借入金	5,410	6,391	981
固定負債 計	10,281	9,022	△ 1,259
長期借入金	6,813	5,555	△ 1,258
退職給付に係る負債	2,936	2,941	5
純資産	13,007	13,671	664
自己資本	12,963	13,629	666
非支配株主持分	44	42	△ 2
総資産	36,280	36,030	△ 250
<自己資本比率>	35.7%	37.8%	

※ たな卸資産 = 商品及び製品 + 仕掛品 + 原材料及び貯蔵品

2019/3期の業績予想 (2018年5月14日公表より修正なし)

- 化成品事業は、半導体向け高純度リン酸等の販売増加の予想も、償却費等のコストアップを見込む。
- 電子材料事業は、放射性ヨウ素吸着剤の販売を見込むも、高純度無機素材において前期あった在庫評価の戻入益を考慮。
- **営業利益のセグメント利益予想見直し**。機械事業は、除染関連プラントの採算厳しい。電子材料は、ガリウム・インジウムの利益率の改善。

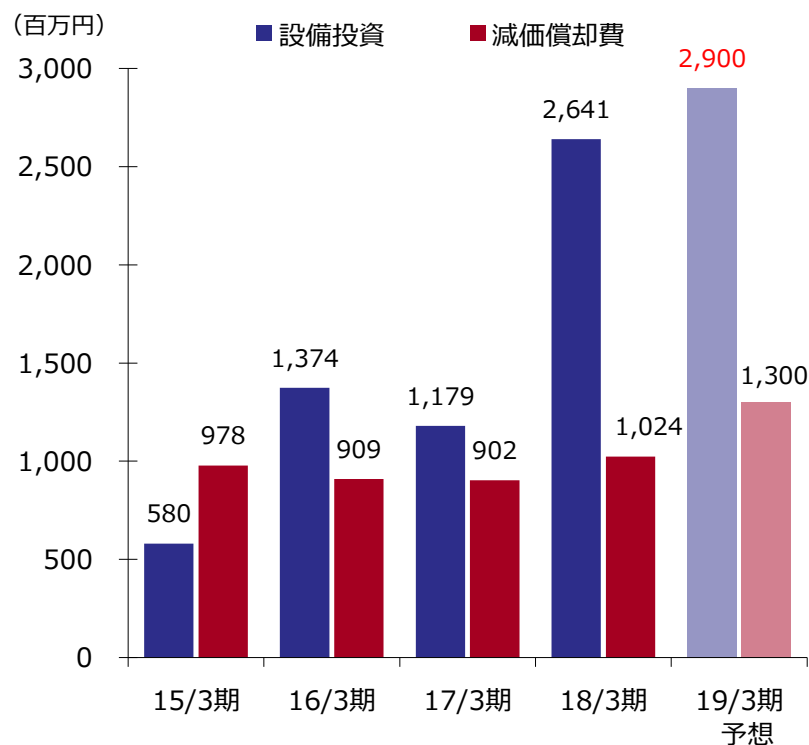
(単位：百万円)

	2018/3期	2019/3期予想	増減	前年同期比
売上高	27,427	32,000	4,573	17%
化成品事業	19,459	23,200	3,741	19%
機械事業	5,104	5,700	596	12%
電子材料事業	1,641	2,000	359	22%
その他	1,220	1,100	△ 120	△ 10%
営業利益	2,842	2,800	△ 42	△ 1%
化成品事業	1,988	2,100	112	6%
機械事業	563	600 → 400	△ 163	△ 29%
電子材料事業	370	300 → 500	130	35%
その他	784	700	△ 84	△ 11%
全社費用など	△ 864	△ 900	△ 36	—
経常利益	2,718	2,800	82	3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,251	2,300	49	2%
1株配当金	40.00円	40.00円	—	—

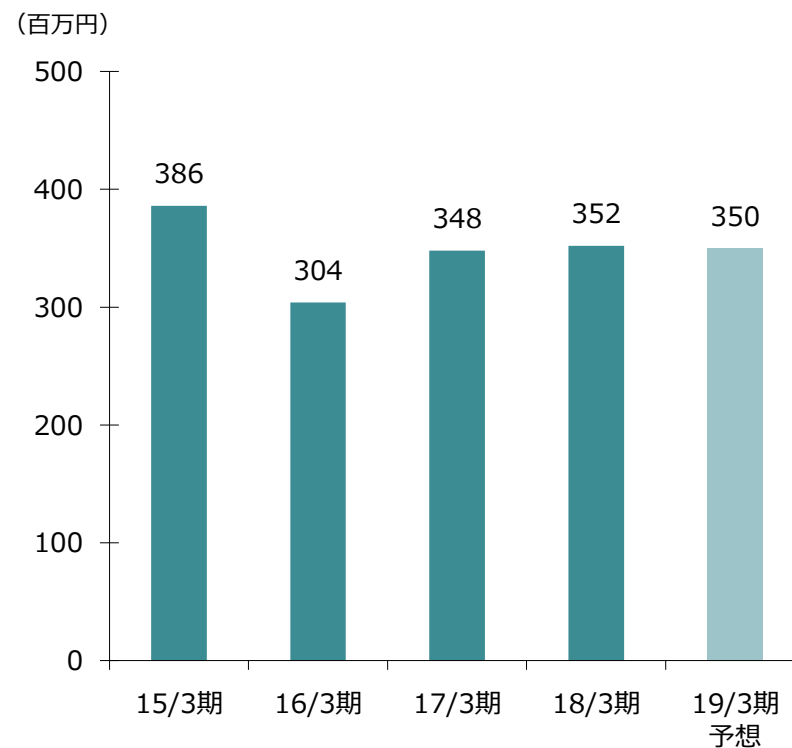
設備投資・減価償却費及び研究開発費の推移

- 設備投資は、主に化成品事業において、半導体向け高純度リン酸設備の更新と増強を実施。
- 2019年3月期においても、化成品事業を中心に設備更新をすすめる。
- 大阪工場（現状借地）の底地を取得予定。 → 損益改善効果を見込む。

設備投資・減価償却費



研究開発費



本資料に関する注意事項

本資料に記載されている内容は種々の前提に基づいたものであり、将来の数値等に関する記載については、不確実な要素を含んだもののご理解下さい。

－IRに関する問い合わせ窓口－
ラサ工業株式会社 経理部
03-3278-3892